

願船坊
だより

II かけ橋 II

第 23 号
編集・発行
願船坊
H28 年 11 月



夏供養・永代経法要

六月二十五日（土）に山口県下松市 勝賢寺の森田
義見先生を初めてお迎えしました。

講題「愛別離苦からの解放」

日々の暮らしの中で、人間関係に疲れた時、自分や
家族が大きな病気になった時、身近な方が亡くなつ
た時、「人生そのものの問い」が起こる。「一体何
のために生きているのか」「死んだらどうなるのか」
この問いには、人間の知識は答えを示さず、積み上
げてきた経験は役には立たない。

【拝読、浄土真宗のみ教え】をいただくと「必ずあ
なたを救いとる」という如来の本願は、煩惱の闇に
惑う人生の大きいなる灯となる。この灯を頼りとする
とき、「何のために生きているのか」「死んだらど
うなるのか」、この問いに確かな答えが与えられる。

宗祖親鸞聖人が比叡の山を降りられ、法然上人の元
を訪ねられ、そこで遭われたのが浄土三部経に説か
れてある阿弥陀如来のお慈悲またおはたらきであり
ました。そしてそこに愛別離苦から解放されていく
道がありました、とただただ喜ばれて、その教え
を彰かにしてくださいました。

これが、浄土真宗という宗教であります、とお話し
下さいました。

宗祖降誕会法要

五月二十二、二十三日、三年に一度
の宗祖降誕会法要を勤修しました。そ
れに伴い、二十二日（日）朝十時より、
初参式を執り行い、子供たちの健やか
な成長を念願しました。仏教婦人会の
皆様に飾っていただきました花御堂
の中にいらつしやるお釈迦様に甘茶
をかけてお祝いしました。

引き続き、昼席より呉市浄円寺の桑原
昭信先生を初めてお迎えし、二日間お
聴聞させて頂きました。

講題『今ここにあるもの』

親鸞聖人がお得度（九歳）の時に、次のように詠われた
「明日ありと思ふところの仇桜、夜半に嵐の吹かぬものは」
平生において覚悟することである。真宗は終末の時の教えで
はない。明日になれば私か誰か、ひとり欠けるかもしれない。
だからこそ、今を大事にしたい。

『十方微塵世界 念仏の衆生をみそなわし
撰取して捨てざれば 阿弥陀となづく』

今生きている、この瞬間瞬間を大事に、そして一期一会を大
事に、お念仏の日々を過ごしていきましょう、というお話で
した。

仏教婦人会の皆様がお花を
持ち寄って作って下さった
素晴らしい花御堂です



宗祖降誕会前夜祭♪お庭コンサート♪



茶室をステージに見立てています♪



出演者の女性陣で、お花の代わりとして、色ドレスで演出しました

五月八日(日)には宗祖降誕会前夜祭としてお庭コンサートを開催しました。フルートの宮本美穂さん、ピアノの鹿取裕美子さんをお招きし、ソプラノの坊守とチエロの私の四人で演奏いたしました。天気にも恵まれて午後ひとときを四十人くらいの方々にお越しいただき、仏教讃歌やそれぞれの名曲をお聴き頂きました。休憩中には仏婦さんもご協力下さり、お抹茶接待をさせていただきました、大変好評でした。ただ、中庭にはツツジ、皐月、菖蒲、芍薬と植えてありますが、ちょうど狭間になってしまい残念。新緑のお庭の中でのコンサートでした。(住職)



悪天候の中、立ち見のお客様も！



九月十九日(祝)には平和コンサートを開きました。今回は久しぶりにチエロ六重奏を聴いて頂きました。メンバーは東京から仲間が三人と、地元広島で活躍している弟子二人が全員ボランティアで共演してくれました。平和への道のりの中の人間の苦しみや悲しみ、また平和への希望や願いを込めた音楽を通して、演奏した我々と共に「平和のこころ」を共有していただきました。そして、今回よりお寺の住職として少し話もさせて頂く事としました。お話の出来はさておき、ご来場下さいました皆様、ありがとうございました。雨の中、本堂に入りきらないほどの百六十名ものお客様、過酷な環境の中でも伝えたい想いを音に込める演奏者、このコンサートを支えるスタッフの仏壮さん仏婦さん。すべての皆様のおかげさまで、このコンサート独特の空気感が出来上がっています。有難いことです。演奏家としても、お寺の活動としても、未永く続けていきたいコンサートの一つです。(住職)

また、今回のコンサートで熊本地震災害義援金として、ご来場の皆様より52,648円の義援金を頂戴し、本山の災害義援金に送らせて頂きました。ご協力ありがとうございました。

第十一回平和コンサート

仏教婦人会レクレーション旅行

四月二十六日（火）に愛媛県今治の大三島、万福寺を参詣しに行つてまいりました。昨年ご講師でお越し頂きました浅野執持先生を訪ねての旅行でした。そして、マイクロバスは願船坊住職自らハンドルを握り、境内を出るところから、はらはらドキドキの出発に。天気は上々、しまなみ海道を通り、大三島までは一時間半程の所要時間でしたので、皆様もお疲れになることもなく、島で目に入った西日本一の長さの藤棚を横目に見て、まずは万福寺に到着。素晴らしい桜の襖絵のご説明を聞き、建て直されたばかりの新しいお寺を見学させていただきました。本当に立派なお寺のお姿を拝見出来たこと、ご参加の皆様もご満足のようでした。お昼を島内の道の駅でいただき、お土産を買われた後、素晴らしい藤棚を散策し帰路に着いたのでした。（住職）



日曜学校お泊り会

八月六〜七日と、初の日曜学校お泊り会を開催しました。いつもの二時間の日曜学校とは違い、おつとめも様々、法話の時間も多々、お寺の宿坊体験のようなことをしてもらいました。夕食もご父兄の皆様にご手伝っていただきながら、自分たちでカレーを作り、本堂でみんなで寝て、朝五時には起床・本堂掃除・ラジオ体操・朝のお勤めと、子供たちにはかなり厳しい体験だったかもしれません。それでも、プール遊びやスイカ割のレクレーションをしたり、仏壮さんが用意して下さったかき氷を何度も堪能したり、本物の竹で流すそうめん流しに大歓声を上げていました。また、お地藏様の絵を描く先生をお招きして、みんなで優しいお顔のお地藏さんを一生懸命描きました。盛り沢山のイベント尽くしだった一泊二日、参加した子供たちの心に何か残すことが出来ていたら何よりです。テント張りからお手伝い頂きました仏壮さま、ご父兄の皆様、本当にありがとうございました。（坊守）



仏壮さんの指導の下、竹で自分達のそうめん用器を作りました♪

日曜学校では、おつとめ・作法・ご法話・仏教讃歌・お焼香を基本として毎月第四日曜日に開催しています。季節行事や他のお寺との交流、本山の作品展へお習字出品など、様々なイベントをして子どもたちと共に学び、楽しんでいます。三歳〜六年生ぐらいの子供さんがいらっしやいましたら、どうぞお気軽にご参加ください。

住職のひと言

今年も振り返ってみれば、忙しい一年でした。ホームページやブログの記事を、なかなか書けないでいた無念さがあります。

無念といえ、日本シリーズは本当に無念でした。でも、これが勝負事です。放たれた一球の次に来るドラマなのですから。それによって嬉しくなってみたり、悔しくなってみたりするわけでしょう。しかし、うちの子供たちは、テンションが最高潮から、奈落の底に突き落とされたかのように、泣きじゃくってしまいました。それを慰めようとして、話しをしてやりましたが、そうではなかったことに、あとから気がつくことに。本当の癒しは、冷静な分析ではなく、一緒に泣いてあげることだったのです。

阿弥陀さまに照らされた私でありましたが、まだまだいたらない私ですね。それでも、「なんまんだぶ」といただくことで、愚痴を封じていただくのです。

しかし、それにしても広島カープはよくやってくれましたね。本当に沢山の感動を与えてくれましたし、旨いお酒を飲ませてくれました。一年間本当にありがとう、そしてお疲れ様でした。日本ハム、日本一おめでとう！

☆今夏、次女の茉里奈（五歳）が本山にて、帰敬式を受けさせていただきました。長女の釋智心と法名を頂きました。長女の沙那（法名 釋安淨）共々、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



☆お知らせ☆

秋供養・報恩講法要（福間 制意師）

十一月二十八日（月） 昼席・夜席

二十九日（火） 朝席・☆おとき・昼席

ゆく年くる年コンサート

十二月三十一日（土） 午後九時より

除夜会 午後十一時四十五分より

修正会 一月一日（日） 朝十時より

御正忌法要 一月十五日（日） 昼席・夜席

十六日（月） 昼席

春彼岸法要（内藤 良範師）

三月二十五日（土） 朝席・昼席

※二十五日のみの「法座」となります

お寺のホームページです。

<http://www.gansenbou.com>